

令和5年度 宮古市児童生徒表彰受賞者

■問い合わせ 市学校教育課学校教育係 (☎68-9116)

市では今年度、他の模範となる行為や活動をした小・中学校児童生徒を表彰しました。

【個人の部】※敬称略、順不同

氏名	所属	大会結果など
井原爽那	磯鷄小学校(5年)	第6回岩手県小学生選抜陸上競技大会 5年女子100m 1位 →大会新記録および岩手県小学新記録
三浦千穂	千徳小学校(1年)	第29回岩手県少年少女レスリング選手権大会 1・2年の部 25kg級D 1位
三浦理雄	千徳小学校(4年)	第39回北日本少年少女レスリング選手権大会 3・4年生の部 男子30kg級 1位 ほか
佐々木海寧	津軽石小学校(4年)	第26回全日本小学生女子相撲大会 4年生以下の部(35kg以上級) 優勝 ほか
佐々木ひかり	花輪小学校(6年)	SDGs かるたコンテスト東北ブロック 優秀賞
両川日奈子	花輪小学校(6年)	SDGs かるたコンテスト東北ブロック 優秀賞
久保尻隼翔	崎山小学校(1年)	第35回全国ショートテニストーナメント大会 1・2年生の部 男子 3位
久保尻翔真	崎山小学校(2年)	第35回全国ショートテニストーナメント大会 1・2年生の部 男子 優勝
大村光介	第一中学校(3年)	第26回 Jr. サクソフォン・コンクール 中学生部門 金賞グランプリ
及川華奈	宮古西中学校(1年)	第42回全国中学生人権作文コンテスト岩手県大会 IBC岩手放送社長賞

【団体の部】※敬称略、順不同

所属	大会結果など
鉾ヶ崎小学校(2年)	『「岩手県小・中学校新聞コンクール」はがき新聞の部』最優秀賞
千徳小学校 ①佐々木碧心②木村梨緒③太田莉心	第20回スナックゴルフ対抗戦JGT0カップ全国大会 岩手県予選会 優勝(団体の部)
宮古西中学校	長年、共同募金活動を行った功績が認められ「中央共同募金会長表彰」を受賞
津軽石中学校 文化祭郷土芸能法の脇獅子舞グループ	第3回古典の日文化基金賞 未来賞 令和5年度第2回岩手県はばたき賞

市営建設工事の発注状況のお知らせ(1月着工分)

1月に着手した工事です。

工事の入札契約の状況は市のホームページ

(☎) <https://www.city.miyako.iwate.jp/index/>

jigyosya/sieikensetukouji_kekka.html

でも公表しています。

■問い合わせ 市契約管財課 (☎68-9070)



工事名	場所	工事期間	契約金額(円)	請負者	工事担当課
小山田テニスコート庇設置工事	小山田一丁目	R6.1.5 ~ R6.3.4	3,306,600	㈲乙戸建設	生涯学習課
宮古市公共下水道大通・宮町地区管路施設更新工事	大通二丁目ほか	R6.1.6 ~ R6.3.15	6,540,600	㈲関川建設工業	施設課
水道公園樹氷ポンプ取替工事	長町一丁目	R6.1.10 ~ R6.3.15	2,112,000	伊手屋電機㈲	施設課
市道上摂待門沢線法面工事	田老字上摂待	R6.1.13 ~ R6.3.15	40,779,200	㈱小成良治商店	建設課
永田橋補修工事	臺目第8地割	R6.1.13 ~ R6.3.15	24,918,300	㈱菊地建設	建設課
音部川河川改修工事	音部第4地割	R6.1.20 ~ R6.3.15	5,611,100	㈲大喜建設	建設課
南地区側溝蓋設置工事(R5)その2	実田	R6.1.26 ~ R6.3.15	1,162,700	㈲崎尾工務店	建設課



第18回宮古市小学生縄跳び選手権大会

練習の成果を存分に発揮

1月27日、小学生縄跳び大会が市民総合体育館で開催され、市内の小学生とその保護者228人が参加しました。

大会では4種目が行われ、選手は、自身の記録更新を目指し全力で競技に挑んでいました。

3分間長縄跳びで優勝した銚ヶ崎小学校Aチームのキャプテン・奥山魁次さん(6年)は「1~2ヶ月前から練習をしてきた。みんなで心をつなげて跳ぶことができてよかった」と目を輝かせていました。



「三陸鉄道」×「浄土ヶ浜エターナルグリーン」
コラボイベント「お土産フェア」

地域色で魅力を伝える

1月21日、宮古駅待合室で「お土産フェア」が開催されました。

地域色「浄土ヶ浜エターナルグリーン」を活用した取り組みは、地域が持つ特有の文化や自然環境などを「色」で表現し、その魅力を発信することを目的としています。

会場では「浄土ヶ浜エターナルグリーン」がパッケージに使用されたお土産品や缶バッジ・ステッカーなどのオリジナルグッズの販売が行われ、多くの来場者でにぎわいました。



EV「デカボン号」お披露目会

脱炭素のさらなる推進を

2月8日、市民交流センターでEV「デカボン号」お披露目会が行われました。

会では、市の地域脱炭素イメージキャラクターのデカボンがデザインされた、かわいらしい車体が初お目見え。車種はトヨタC+pod(シーポッド)で、県内自治体で初めて導入されました。

山本市長は「EVを活用して、脱炭素の推進と災害に強いまちづくりを進めながら、市民の皆さんが導入しやすい環境を整えていくためにも、積極的にPRしていきたい」と話しました。



区界高原雪のゆうえんち

区界高原の冬を満喫

2月4日、区界高原雪のゆうえんちには、市内外から親子連れなど780人が来場しました。

来場者は、スノーシューを使った雪原トレッキングやスノーラフティングを体験したほか、雪の迷路やすべり台、かまくらなどで思い思いに雪遊びを楽しみました。

家族で来場した熊谷碧流さん(盛岡市立向中野小学校1年)は「スノーラフティングやそり遊びが楽しかった。今年は雪が少ないので、雪遊びが出来てうれしかった」と笑顔を見せました。